

チャレンジしたい人を受け入れ、応援してくれる街、宇都宮。東京圏へのアクセスもいい宇都宮だからこそ、地元で、東京で、世界で活躍する人たちがたくさんいます。

地元で、東京で、世界で。輝ける街

働く



2「マルヨシ」で味わえるのは清原地区を中心とした地元産の農産物を使った料理。3 笠原さんの清原地区でのつながりを広げるきっかけとなった「Zutto きよはら」の皆さん。4.5.6 酒屋の当時の面影を残しつつリノベーションされた店舗。温かな雰囲気の魅力だ。



CHECK!!

ずっと Zutto きよはら

清原地区の生産者や飲食店、施設など清原を愛するメンバーが集まり、清原地区を盛り上げるために活動している地域団体。誰でも参加できるツアーなどのイベントも開催している。http://ur0.pw/pdKF

GOOD PLACE!! UTSUNOMIYA

全国的に著名な料理人、多方面で活躍する人が集まっている街。そういう人とつながりを持っているのも魅力です。



1 厨房で腕を振るう笠原さん。地元で採れる新鮮な素材をいかに料理にするかを日々考えているという

CASE STUDY

07



宇

都宮市氷室町の「光が丘団
 地商店街」は飲食店や雑貨
 店が集まる小さな商店街。
 県外からも多くの人が訪れるこの商店
 街のキーパーソンが笠原さんだ。ほと
 んどの同級生が東京に進学するなか、
 一人大阪の専門学校へ進学。卒業後も
 府内の料理店に就職し、料理人として
 順風満帆な日々を過ごしていた。
 そんな折、祖父の代から営んでいた
 酒屋の閉店話が浮上。物心ついたとき

から馴染みのあるこの店を失いたくな
 い。笠原さんは三代目として引き継
 ぐことを決意。試行錯誤を繰り返して
 2004年、「まるよし酒店」は「サ
 カヤカフェマルヨシ」として新たな
 スタートをきることになる。店舗経
 営において決断していい立地とは言え
 ない市郊外の住宅地。それでも笠原
 さんはこの場所にこだわった。自分
 が生まれ育った思い出のあるこの「光
 が丘団地」という場所に。
 不安でたまらなかつた開店当時、
 笠原さんを支えてくれたのは地元で
 カフェを営むオーナーたち。親密な
 関係は今も続き、そんな彼らのこと
 を、共に闘う同志と呼ぶ。やがて
 親友をこの場所に誘ったのを機に、
 次々と店が集結。こうして宇都宮の
 片隅にいつしか小さな商店街が誕生
 した。「宇都宮は中心部だけじゃない。
 郊外の住宅街だって、新しい人が集
 まること新しい街。が作れるん
 です」
 清原地区での出会いも笠原さんに大
 きな影響を与えた。「清原地区市民セン
 ターから山口果樹園の山口幸夫さんを
 紹介されて、そこから清原地区の農家
 とのつながりが広がりました。今は農
 家の皆さんと連携して、清原の農産物
 を使った加工品の商品化を進めていま
 す」
 清原を愛するメンバーが集まり、
 清原地区を盛り上げるために活動す
 る団体「Zuttoきよはら」の一員でも
 ある。「清原で活動している方と横の
 つながりを増やしなから、オール清
 原」で街の特色を打ち出していきたい。
 僕は生まれ育ったこの街に貢献した
 いんです。もっと、今よりも、もっ
 とね」

宇都宮をもっと魅力ある街にしたい
「人と人がつながって
新しいものが生まれる街」



カフェ経営 笠原慎也さん